

# ふくい女性ネット REPORT

## もっと福井のことをわかりたい！

福井で働いていても、福井のことって意外とわかっていないもの。

ふくい女性ネットに参加して、福井の様々な業種の企業や、活躍している方々と交流を深め、「福井は素敵」を実感しています。

今回は、ふくい女性ネットの自己研鑽部会が企画した「株式会社エイチアンドエフ」・「株式会社福井新聞社」の企業見学会のレポートです。

### 「株式会社エイチアンドエフ」見学会 平成20年7月9日（水）

#### ≫会社概要≪

本社・工場 〒919-0695 あわら市自由ヶ丘1丁目8-28

熊坂工場 〒919-0723 あわら市熊坂130字

URL <http://www.h-f.co.jp>

**事業概要** 自動車のボディーなど金属加工用のプレス機械およびその周辺装置の製造・販売・アフターサービスを行い、国内そして海外の自動車メーカーと取引している。自動車産業だけでなく、オリジナルの生産革新技術として宇宙産業、航空機産業へと次々に新製品を送り出している。



挨拶される春山社長

あわら市の株式会社エイチアンドエフの工場を見学しました。出席者は15名。ふくい女性ネット設立総会以来の大人数の参加となりました。

まず、本社会議室で春山紀泰社長からご挨拶を頂き、続いて総務部の長友副部長から会社の概要などを説明していただきました。自動車のボディーなどを作るプレス機械やその周辺の自動化搬送装置を製造しているという説明では、専門用語などが多く難しいところもありましたが、ビデオを見て理解する事ができました。

女性社員は従業員390名のうち38名。管理部門だけでなく、技術や製造部門などすべての部門で活躍されているそうです。





説明を受けた後、メンバー全員ヘルメットをつけて、早速工場見学に出発です。

本社工場ではプレス機械を製造していました。分厚い鉄板が、高く積み上げられた資材倉庫から工場内へと移動し、自動的に切断され、溶接して組み立てられている行程を見て行きました。広い工場内で組みあがっていく機械のあまりの大きさに目を丸くしながら見学していました。



次に本社工場から熊坂工場へと移動しました。設計部門から見学しました。パソコンに向かって設計している方の中には、プレゼン資料や見積書の作成などの業務をてきぱきとこなしている女性社員の姿がありました。

続いて、自動化搬送装置の組み立てをしている工場内を見て回り、最後に完成した機械が動く様子を見学しました。

ロボットと搬送機の動きがぶつからないようにプログラムで制御して動いているとのことでしたが、大きな機械が高速で動いているにも関わらず、音が静かなのに驚きました。

福井にも、私たちが知らないところで世界的に頑張っているすばらしい企業があるんだと改めて感じた一日でした。

なかなか見ることが出来ない、機械製造の現場を見学する機会を作っていただいたエイチアンドエフさんには、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。



#### H&F 長友総務副部長 より

いたらぬ点多々あったかとおもいますが、ご満足いただけたようでなによりです。みなさん全員が、とても活き活きとして、福井もまんざら捨てたもんじゃないなあと感じました。(会社を離れているとかな?)女性ネットに参加しておられるみなさんにお会いできて本当によかったです。また今回、当社を知ってもらえたことも収穫でしたが、それよりもみなさんから元気(未知の力)をもらって私が生き返ったような気がしています。ありがとうございました。みなさんのますますのご活躍をご祈念いたします。

### 見学を終えて

自動車プレスが地元福井で作られているかと思うと親近感がわき、工場内で見学した「高速ロボット」1分間に18回というスピードには大変驚きました。

製造ラインの整理整頓がきちんとなされている姿(あるべき姿なのかもしれませんが…)に感動しました。

今まで他社を見学する機会も無ければ、このように丁寧にご案内いただくことも無い経験させていただきました。

皆さん会社、仕事に誇りを持っておられ、福井県を代表する企業であることがよくわかりました。素晴らしい企業には、素晴らしい人がいることを感じました。

福井には世界に誇る技術力があり、ものづくり立国日本の基礎を支えている。福井の企業も女性も一歩前へ!

福井発信の最先端の機械たちが、世界のあちこちで、様々なものを作り出しているということをお聞きますと、ものづくり日本の力を持っている縣なのだあと再度実感させられました。

こちらで作られている機械は、本当に大きくて、とても刺激的でした。現場の方々の真剣なまなざしと、また活躍されている女性の皆さんがとても活き活きされていて、パワーをいただきました。

これまで、会社のお名前は何々耳にしていたのですが、今回細かく見せていただき明確にイメージすることができました。

工場内の管理体制や社内の連絡網などしっかりしていて、学ぶ事が多かったです。

日本の製造業の根幹である自動車産業を支えている企業が福井の企業であることに大変驚きました。



## 「株式会社福井新聞社」見学会 平成20年8月27日(水)



### ▶▶ 会社概要 ◀◀

〒910-8552 福井市大和田町 56

URL <http://www.fukuishimbun.co.jp>

**事業概要** 日刊紙「福井新聞」を発行。国内外のニュースをはじめ、県内のニュースや情報、話題をきめ細かく伝える。

日本海側最大規模の福井マラソンや女性の集い「ささら」など、スポーツ・文化関係の各種イベントや催しを幅広く開催している。

福井に住んでいる人でこの企業、いやこの新聞社を知らない人はいないであろう「福井新聞社」へ、ふくい女性ネットのメンバー16名が会社見学に訪れました。創立100周年を機に2002年に移転した新社屋は、最新鋭の情報機器・生産設備がそろうとともに、県民・読者の方々にご利用してもらいたいという思いからつくられた交流ゾーン「風の森」や見学施設「新聞おもしろ館」が整備されていました。このような社屋は、新聞社としては全国でも当時、例を見ない取り組みだったそうです。

社屋には県内出身の有名な作家の美術品が飾られ、地元とのつながりを大切にしている福井新聞社の考えが伝わってきました。



見学記念号を発行



まず、「見学者用ビデオ」を見せて頂きました。政治・経済・社会から文化、スポーツなどあらゆる分野の取材、正確さやスピードが求められる紙面編集や制作工程、広告主と読者のパイプ役となる広告部門など、それぞれの役割と新聞制作の流れが理解できました。

次に見学したのは「新聞おもしろ館」。より多くの県民や読者の皆さんに、新聞についての興味や親しみを深めてもらうために開設されたそうです。文字、紙、印刷の歴史を知る資料や、現在のコンピューター編集になるまでに使用されていた新聞制作機材が展示されていました。昔は1文字1文字鉛の文字を選んで文章にしていたそうです。考えるだけでも気の遠くなる作業です。説明の中で、私たちが毎日読んでいる福井新聞には「嶺北版」と「嶺南版」があるということを知りました。(皆さん、ご存知でしたか?) 嶺北版では紙面の嶺北部分がカラー、反対に嶺南版では紙面の嶺南の部分がカラーになっているそうです。その他、おもしろ館では様々な発見があり、女性ネットワークのメンバーは小学生のように目を輝かせ、新聞の歴史や先端の制作技術と触れ合っていました。







最後に、福井新聞社で女性の副部長として活躍されている林さんと泉さんをお迎えし、意見交換を行いました。お二人ともご自身の仕事に誇りと情熱を持っておられ、その姿勢に学ぶところがたくさんありました。言葉の大切さを知るとともに、特に印象に残ったのが「福井の人や企業が元気で活性化しないと福井新聞は成り立たない。福井新聞は、福井の人、企業が元気になるお手伝いをしたい。」という言葉でした。



この言葉から、福井新聞社の「福井を思う気持ち」を感じることができました。福井新聞社の「ニュースに人柄」ではありませんが、福井新聞社の「福井を思う人柄」を肌で感じた一日でした。



#### 福井新聞社 青山経営企画室長 より

ふくい女性ネットのみなさん、短い時間でしたが、福井新聞社の空気の一部でも、ご理解いただくことができたでしょうか。当社は、来年で創立110周年を迎えますが、地元が一番密着した企業でありたいと、日ごろの取材や報道、営業活動を行っています。おかげさまで、県内での普及率は約8割を占め、大勢の県民の方にご愛読いただいております。逆にいえば、わたくしどもの「顧客」のほぼ100%が福井県民ということで、地域の産業や文化等の発展によって当社も伸びてまいりました。ただ、世の中の動きの激しい昨今、伝統だけに甘んじることなく、WEBやモバイル分野への進出など、報道機関として新たなチャレンジも積極的に進めています。今後とも「福井新聞」のご愛読とともに、新しい媒体にも親しんでくださるようお願いいたします。

### 見学を終えて

新聞社の見学を小学生のように楽しませていただきました。

同じテーマでも女性と男性では、捉え方や視点が違うので、見出しや記事が違ってくるということが新鮮でした。

昔の方の大変な苦勞や現代の技術進歩をまのあたりに見せていただいたように思います。これほど福井を見つめ、福井とともに多んでいる企業は他にはないでしょう。

また、24時間を通しての仕事。各自のセンスと力量がそのまま県民に届けられている事にも感動しました。言葉の大切さ……。地元をよさを再発見できた一日でした。

いつも身近に感じている新聞。その新聞社の訪問ということで、大変楽しみにしていました。初めての見学ということで、とても刺激されました。なんといっても新しい社屋、スケールの大きい印刷機など驚きがいっぱいでした。

日頃何気なく目に入っている新聞ですが、今回見学させて頂き、新聞ができるまでには、たくさんの方が関わっていることを学びました。取材をする、記事を書く、構成を考える、何度ももつたる文章、誤字の確認……など最新の情報をみんなに伝えるために多くの人が活躍していました。

男性が大半を占める中で活躍する女性がいっぱいいることにとても感動しました。女性社員との交流会もあり、大変さや楽しさなどお話しを伺えて、とても勉強になりました。

交流会では男性社会の中でも活躍されているお二人の話も聞いて「男性・女性と意識したことがない」「人のつながりが大切」など、とても共感を得ることができました。

## 働く女性のネットワーク会議「ふくい女性ネット」メンバー募集

平成21年4月から平成23年3月の2年間活動いただけるメンバーを募集します。

- ◇ 募集締切 平成20年11月28日(金)まで
- ◇ 定員 20名程度(定員になり次第締め切らせていただきます。)
- ◇ 資格 県内企業に勤務する女性で、活動に意欲のある方。また、月1回の例会に出席できる方。(例会は、平日の午後、2時間程度開催)
- ◇ 応募方法 各企業からの推薦
- ◇ その他 参加負担金はありません。例会等行事に参加する際の旅費は、県で負担します。

## ふくい女性活躍支援企業登録企業募集

県では、女性の登用や女性が働きやすい職場づくりに取り組んでいる企業で、「ふくい女性活躍支援企業」として登録いただける企業・団体を募集しています。詳しくは、下記までお申込み、お問合せください。

上記の募集およびふくい女性ネットのお申込・お問合せ(お申込は、郵送、FAX、メールでお願いします。)

福井県総務部男女参画・県民活動課(〒910-8580 福井市大手3丁目17-1)  
電話0776-20-0319 FAX0776-20-0632 e-mail danjoken@pref.fukui.lg.jp